

令和元年度 今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市野間馬ハイランド
所在地	今治市野間甲8番地
指定管理者	名称 野間馬保存会
	代表者 会長 大澤 讓児
	住所 今治市阿方甲246番地1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	産業部観光課
	TEL : 0898-36-1541
	E-mail : kankou@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分に理解して指定管理者業務を実施している。	A	適正に業務が実施されており、平等な利用の確保や施設の設置目的に沿った管理運営がなされている。
利用状況	C	入園者数・乗馬利用者数は、実績対比は前年度を下回った。	B	少子化の影響に加え、野間馬の体調面を考慮した乗馬利用者の体重制限引き下げなどにより、利用者数が減少していると考えられる。野間馬を第一に考えた飼育を今後も注力していただき、まずは乗馬利用者の体重制限が戻るよう努めて頂きたい。
事業収支	A	野間馬保存会の経理に関しては、越智今治農業協同組合乃万営農センター長が担当しており、会計帳簿の整理や会計伝票の作成、印鑑の管理などを適切に行った。また、収支計画に基づいて予算執行を行い、資金調達においても余裕をもって対応できた。	A	各協会との連携に取り組み、収入増が図られている。修繕を計画的に実施するなど、適正な予算執行が行われており、評価できる。
管理運営体制	B	組織体制及び職員の研修については一定の水準を取り組みを行った。	A	業務の運営に支障の無いようローテーションが組まれており、適切な人員配置が行われている。朝礼等での職員間の情報共有がなされており、運営体制が充実していると評価できる。
維持管理業務	B	維持管理業務については、一定の水準の取り組みを行っているが、特に植栽管理業務及び清掃管理業務については、園長以下職員全員で積極的に取り組んでおり、清潔感のある人の目の行き届いたどの公園にも負けない「美しい公園」であると思われる。	A	職員一丸となった公園管理が徹底され、園内が常に清潔に保たれており、高く評価できる。今後もこの状態を維持できるよう、園内管理の徹底に期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
使用管理業務	B	入園者数、乗馬利用者数の項目において、前年度の数值より下回った。利用調整業務・受付業務及び利用促進業務については、一定の水準の取り組みを行っているが、宣伝広報業務及び誘致活動業務としては、無料広告掲載を行い集客を図った。	B	パンフレットの見直しや経費のかからない無料の広告掲載を活用するなど、利用者増を図る取り組みが評価できる。今後は、施設ホームページのブログ更新頻度を増やすなど、さらなる取り組みに期待したい。
飼育管理業務	A	鹿児島大学農学部や岡山理科大学獣医学部と連携することにより、飼育管理業務、日常管理業務、保存管理業務、動物利活用業務及び飼育管理記録等保存業務の全ての業務において積極的に取り組むとともに、市指定文化財の保護に努めた。	A	岡山理科大学獣医学部による健康診断をはじめ、各専門機関との連携により、市指定文化財である野間馬の頭数維持が出来ている。今後も野間馬を第一に考えた適切な飼育管理に取り組んで頂きたい。
その他業務	B	事故発生時の対応やサービスマニュアルの見直しなど、各マニュアルを整備した。	B	概ね適正に実施されていた。今後は、施設の状況に応じた災害対策の見直しに取り組んで頂きたい。
修繕業務	B	修繕業務については、一定の水準での取り組みを行った。	B	指定管理料の範囲内で、計画的な修繕が実施されているとともに、応急的な修繕も対応できており、評価できる。
備品管理業務	B	備品管理業務については、一定の水準での取り組みは行った。又、常時点検修理を行って維持している。	B	出産状況を確認するための監視カメラを導入するなど、新たな取り組みが感じられる。今後も各専門機関からの意見を取り入れて頂きたい。
自主事業	B	自主事業として、「のまうま新聞」「のまうまの日（無料体験乗馬）」等を実施し、一定の水準以上の取り組みを行った。	B	騎馬隊キッズの活動休止によるポニーライダー検定中止は残念であるが、他の自主事業は適正に組みができています。
地域団体との連携	B	今治市立乃万小学校の総合学習や野間馬クラブの受け入れ、地域の清掃活動への積極的な参加や地域活動への場所の提供などを通じて、地域団体と良好な関係を築いた。	A	地元小学校や地域との連携はもちろんのこと、岡山理科大学獣医学部の提案も積極的に取り入れており、評価できる。
利用者アンケート	B	利用者アンケートの結果については満足いくものであり、今後も満足度の向上に向けた取り組みを強化していきたい。また、アンケートの内容も少し変更したい。	B	アンケート標本数も前年度より増えており、より多くの意見を得ることが出来ている。各項目の解析をさらに進め、さらなる満足度向上に努めて頂きたい。
事故・苦情	B	事故・苦情については、取り組みにより一定の水準を満たしている。	B	大きな事故・苦情もなく施設の運営がなされている点は評価できる。ただし、万が一事故や苦情が発生した場合の対応ができるよう、職員間での情報共有を今後も継続して頂きたい。
指定管理者の経営状態			財務諸表及び会計帳簿を精査した結果、適正に作成されており、経営状態は健全かつ安定していると認められた。	

## 令和元年度 今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

### 総合コメント（市）

指定管理者は、今治市野間馬ハイランド条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務は適正に実施されていると認められた。

ここ数年は、少子化や乗馬利用者の体重制限引き下げを起因とする利用者減となっているが、職員一丸となった公園管理が徹底されており、施設利用者から高い評価を得ている。予算執行についても計画的・応急的な修繕や備品整備などが実施されており、安定的な経営に努めている点が評価できる。

今後、岡山理科大学獣医学部との連携をさらに充実させ、市指定文化財である野間馬の頭数を適正に管理するための取り組みに期待したい。